

議員定数・報酬等調査研究特別委員会 住民懇談会

令和6年8月25日（日） 10：00 町民会館

出席議員（議席番号順）：三ツ井議員、中井議員、小林議員、瀧野副委員長、渡邊議員、
中島議員、樋口議員、風間議員、目須田議員、石川議員、
清水議員、大川議員、伊藤議員、原田委員長、青山議長

住民参加者数：8名

司会：風間議員 あいさつ：青山議長、原田委員長 説明：瀧野副委員長

質問・意見等（発言順）

質問①

定数は決めなければならないのか。最低100票とったら当選できるとしたらどうか。

回答①

条例で定数を定めることになっているので、出来ない。

質問②

説明資料には定数は1減、報酬は増額となっているが、これは決定なのか。それとも住民懇談会の話によって、練り直すということか。人口減少は進行しており、その中で14名に決めたことは納得できない。定数は11名が良い。岐阜県養老町は飯綱町の倍の人口で議員数が11名である。議員数が減ると住民の要望を汲み取れないと言うが、それは議員活動でやるべき。今回、定数削減を真剣に考えて頂いたことは評価するが、検討会はそう何回も出来る訳ではない。先を見通して、確実な数字を出して欲しい。

回答②

人口減少に伴う定数削減については、委員会の中でも協議された。今回は、次回の改選時までに条例改正をして、執行していければと思っている。毎年160人程の人口減少が考えられるが、10年間程はこの定数でいけるのではないかという事で、人数を出したものの。

質問③

人口減少に対して見通しが甘いと思う。10年後は飯綱町の人口は8000人程度になる。住民アンケートでは、定数削減で当選ラインが高くなるとあったが、それはおかしい。上位の人が沢山得票すれば、下の方はそんなに取らなくても良い。考え方が惑わされているのではないか。

回答③

法定得票数がある。定数にそれを反映するかどうかという事は、持ち帰り、しっかり議論したい。

質問④

14名という結果が出ているが、内容的にどうしてなのか、詳しく説明して欲しい。

回答④

資料9ページに掲載している採決の通り。

意見

中間報告に基づいて、住民の意見を聞いた上で、更に議論を深めて方向性を決定することなので、特に留意して欲しい点を述べたい。

1点目だが、報告の中にこの数年間の飯綱町議会と議員の活動の総括がされていないので、もう少し深めた方が良い。住民アンケートでは議会に対する住民評価が相当落ちている。また、議会報を見ていると10年前と比べると一般質問をする議員数が半数に減少している。そういう議会の活動を住民は見ている中で、議会に対して住民は本当に信頼できるか。

2点目に、これから飯綱町議会はどのような方向で発展していくべきかという具体的な方法、未来志向が欠けている。

3点目は、定数と報酬の議論の仕方、定数は民主主義の論理であり、住民の代表機関である議会がより多様な住民の意思を反映するためにはどうあるべきかという視点で議論する必要がある。一方で報酬は議員活動の量と質に対して、どの程度の報酬にするべきか、色々な計算方式もあるが、議員の評価に対して報酬を決めると言う点で議論すべき。定数と報酬を一緒に議論すると分かりにくくなってしまう。

4点目は、全国的でも6割の町村議会であり手不足は深刻な問題になっているということ。真剣に打開策を考え、実行しなければならない所に来ているが、議会の決意や、これから取り組むべき課題が鮮明になっていない。議員が成長する姿を示しながら、次の議員の担い手を養成していくことが重要な役割である。政策サポーターやモニター制度が住民参加型の議会を目指す中で、次に議員になっていただく人を作っていくという取組である。更に視点を広げて議論を深めてもらいたい。

回答

議会に対する姿勢ということで、議会の中でもしっかり検討をして、未来創造ができるような議会にしていきたい。

意見

1人減らして報酬を少し上げたのでは、あまり意味がないと思う。飯綱町議会は、40万、45万の仕事をしていると思う。先日、若い方で議員でそれしか貰えないなら、自分は生活できないから議員には立候補できないと言っていた。しっかりした意見を持った人が議員になれない議会はおかしいと思う。例えば若い人だけでも生活できるように最低30万は保障するなど、その後やったことに対してプラスアルファするなどの、方法を考えて欲しい。

回答

議会の中でも若い人、女性が参画できるような報酬が良いのではという事で議論してきた。全体的には報酬を増額して、町長へその旨を伝えたいと考えている。

意見

報酬については、先ほどの意見に同感。定数については、同規模自治体と比較しながら、報酬は比較していないで曖昧だと思う。大胆な報酬提起を町民にしても良いのではないか。最低で全国平均の 21 万 3000 円まで引き上げて良いと思う。このように頑張らって、議員活動、議会活動を展開するという決意と展望が無いままに増額すると、上げすぎではないかと言われてしまうが、全国平均というのは、一つの明確な基準である。宮城県のある議会では、村で 6 万円上げて 30 万円にした。近隣の 6 議会全て上げていた。それでも住民から苦情が来ない。長野県の町村議員の報酬は全国 46 位、山梨県が 47 位。県全体が低いので、近隣を参考にすると報酬は上がらない。この際に思い切って上げたら良い。22 万、23 万でも良いと思う。皆さん、次は立候補して下さいという事でやるぐらい大胆に提起したら良い。

回答

一つ前のご意見の一般質問の状況について、改めて今、画面に出している。過去 10 年間の平均人数の推移がグラフ化されているが、吹き出し部分を見てもらうと、飯綱町の令和 5 年度の一般質問の合計人数が 21 人、全国や県と比べて極めて少ないという状況ではないが、10 年前の飯綱町議会に比べると半減しているという状況である。今回の資料については、平成 28 年の特別委員会での懇談会資料と同じ作りにしてある。議会で行ってきたこと、アンケート結果の受止め、議論の内容という所までで前回も留めてあり、住民懇談会が終わった後に、町長へ要望書を提出する運びとなった時に、一番最後の段落として、住民の皆さんからこういったご意見を頂いた中で、議会としてはこのような事を頑張っていくという作りになっていた。今回の住民説明会をする中で、現状はこうで、住民アンケートの評価はこのようになっているので、今後はこのように頑張りますと宣言することも大事だが、そうすると住民の皆さんから率直な意見が出づらいつ部分があるかと思ひ、このような形とした。ここから頂いた意見を基に、議会として話し合った内容から、将来的な展望を入れていきたいと考えている。

回答

自分も同じ考えである。住民懇談会で頂いた意見を参考に、12 月までに議会として結論を出していくということで進めていきたい。

意見

長野市や県会の議員よりも、飯綱町の議員の方が働いていると思っているので、そこまで一気に報酬を上げることは無理でも、全国平均ではなくて、30 万でも良いと思う。50 万ぐらいでしっかりと議員活動に専念できる金額にしても良いと思う。

回答

アンケート結果を基に報酬を上げていくという事を訴えていけるのかという心配も議員の中にはあるので、全国平均あるいは県内平均で提案した方が良いのではないかという事になった。今回、ご意見を頂いたので、要望できることであれば、要望してい

きたい。

質問⑤

特別委員会で1年半かけて大変な思いをされたと思うが、その結果、定数15が14という事では、何なのかと数字だけ見ていると感じた。なり手不足や無投票が問題だということが出てきたが、恐らく14にしても同じ形になるのではないか。立候補する時には落選したくないので、何となく周りの様子を見ながら、定数に近い数字になっていくのではないかと思う。例えば15の定数のうち11人しか出ないという事であれば分かる。自分は定数15のままで良いと思う。その前になり手不足や、議員の魅力などを改善していかないといけない。その一つが報酬かもしれないが、それらをやってからでも遅くないと思う。15名を14名にして住民が喜ぶかというところではない。その前に報酬を上げた方が、町民にはインパクトを与えると思う。これからの議会はこうやっていくから、この報酬が妥当だという作り方で町長に提案して頂ければ良いと思う。住民も金額は気になっても、定数はあまり気にならないと思うので、町長に報酬の増額を提案して頂きたい。

回答⑤

議会としても真剣に議論しながら進めていきたい。

意見

報酬問題は町長に提案すると、報酬審議会にかかる。そうすると、どこの都道府県でもそうだが、報酬審議会はなかなか報酬アップを簡単に認めない傾向がある。審議会に納得してもらえる理論的根拠が必要だと思う。その点でも、全国平均というのは理論的にも納得しうるのではないか。また、今回は全国平均として、その後10年間で、2年毎に報酬を見直すということを住民に提案していくのはどうか。一度変えたら10年は変えられないという事ではなく、その後の議会活動の進展や、住民の理解を得ながら、2年毎に見直しをして、24万、26万など、30万までいくかどうかは分からないが、その様に示したら飯綱モデルとなると思う。また、議会自身が議員のなり手を養成したり、立候補してもらうための格別の努力をこれから1年間かけて活発にやって欲しい。北海道の栗山町では議員の学校を開催し、参加者のうち3人が立候補して当選した。愛知県の孝田町は議会報に6,7回に渡って、議員になって欲しいという特集記事を掲載した。宮城県の蔵王町では、70年間女性議員ゼロだったが、女性模擬議会を開催し、参加者から3人の女性が当選した。全国の議会は必死の思いで努力をしており、この議会は非常に安閑としている。危機感をしっかり持って、議会自身が対策と行動をとって欲しい。例えば区長、組長に議会と一緒に来年の町会議員選挙のために候補者の擁立を共同でやって欲しいという申し入れをしても良いと思う。人口1万人いるのだから、5人や10人の議員候補者がいないわけではない。いかに発掘するかだと思う。

回答

参考にさせて頂き、議会で協議する。

意見

資料によると過去5回の選挙の中で、前回は無投票だが、良く数字を見ると本当の選挙戦は合併した最初の定員18名に対して22名が立候補した時のみだと思う。結論として、報酬は上げた方が良いと思う。一般の民間企業が人員不足で事業が成り立たないので、とりあえず社員を採用したいと言う時は給料を上げるしかない。今は、給料を上げても社員は増えない。議員のなり手不足は色んな問題があると思うが、まずは動機付けのために報酬を上げたら良いと思う。長野県の生坂村で58歳以下の報酬を30万円台にして、58歳を過ぎたら報酬を下げ、実際に立候補者が増えて選挙になった。選挙戦になった理由は過去4回、無投票が続いたという事であって、報酬増は一つの動機付けであったが、一つのキッカケになると思う。飯綱町議会が全国で表彰を受けた事は承知しているが、実はそれによって議員になるハードルが上がっているのではないか。議員になったらこういう活動をして、こういう成果をあげて表彰されるぐらい活動しなければいけないという意味で、ハードルが上がり過ぎて立候補者が出ないのではないか。報酬は上げた方が良い。定数については、人口ピラミッドで表した時に、飯綱町は平均年齢が65から上になっている。60歳から下の人が非常に少ない。そうすると若い人が少ないというのは、10年後に響いてくる。そういう人たちが議員として活動できるような環境を作ってもらいたい。これまでの議員の年齢構成を見ても、平均年齢も上がってきており、世代交代しないといけないタイミングに来ているはずなのに、人口ピラミッドでいくと60歳以下は住民の3割もない。そういう10年先の飯綱町をシミュレーションをして、実際に動けることが出来る人たちをどうやって探してきて、活動してもらおうかという点も検討してもらいたい。

回答

参考にさせて頂く。

11:25 懇談会終了

以上